

郷土芸能専門部

郷土芸能専門部副部長 木村 佑

①第47回全国高等学校総合文化祭

「鹿児島大会」

期 日：令和5年7月30日（日）
～8月1日（火）

会 場：奄美文化センター

出場校：鶴岡中央高等学校

演 目：「挑」

②令和5年度山形県高等学校総合文化祭

郷土芸能部門大会

期 日：令和5年10月14日（土）

会 場：村山産業高等学校 耕道会館

審査員：伊藤 久敏 部長

近江 正人 氏

河合 克行 氏

柏倉 千加志 氏

各校顧問

成 績：総合文化祭賞（最優秀）

鶴岡中央高等学校 「挑」

高文連賞（優秀）

山形明正高等学校 「響明」

優良賞

米沢工業高等学校 「友響」

③各校の活動

全国総文 台風顛末記

鶴岡中央高等学校 教諭 大坂秀幸

今年度の全国総文祭の郷土芸能専門部は奄美市での開催であった。島嶼部の開催で懸念されていたことが現実となり、台風による交通手段の途絶という最悪の事態に見舞われた。航空機・フェリーともに運行の目途がたたない中、予約のフェリーとANA

便を急遽キャンセル、LCCの23人分の航空券を幸運にもネットで手配できた。その手配した日に無事航空機が飛びたち、成田と関空経由の2経路でJRを乗り継いで、1日遅れでなんとか帰ってくることができた。参加生徒も引率教員も疲労困憊であった。ちなみに運送会社に依頼した太鼓の台などが学校へ着いたのはお盆を過ぎた17日。延泊の費用も期間（2泊分）も最低限で抑えられたことに胸をなで下ろしている。

和太鼓部 荒崎太鼓 海童の活動

加茂水産高等学校 2年 川田 健大

私は、令和5年度の県総合文化祭郷土芸能大会ステージ発表を見学し、自分の知らなかった和太鼓の叩き方、流儀、テンポなどを学びました。

今年度、本校和太鼓部員は二名となりました。昨年までは一人でのソロ演奏練習のみでしたが、二人になったことで練習ではリズムがなかなかつかめず、お互いに合わせて練習することの難しさに苦戦しました。その中で、自分たちで良かったところ、改善していくところを見つけあい練習に励みました。限られた練習時間でしたが、本校実習船鳥海丸の出港式では激励の演奏をやり遂げることが出来ました。

二人での練習を繰り返すことで、どちらかが失敗してもお互いがカバー出来る技術を磨いています。演奏がうまくいった時は爽快感があります。今後も練習に励んでいきたいと思います。

祭りに向けて

村山産業高等学校 2年 井澤 七嘩

今年は昨年よりも新型コロナウイルスの制限が緩和され、制限のない徳内まつりが開催されました。昨年度の経験を活かし、少ない時間の中でも集中して練習に取り組む事ができました。さらに今年度は一般参加生徒の他にもカナダからの中高生も一緒に踊りでのパレード参加となりました。本番当日は練習の成果を発揮することができ楽しく演奏、演舞を行えました。今回のまつりを通して一人一人が自分の役割を理解し行動する力も身につきました。

3年生が引退し新体制となりましたが、私達が楽しく演舞を行い、さらに演舞を見てくださる方々も楽しんでいただけるようこれからも練習を励んでいきます。

喜んでもらえる演奏を目指して

新庄神室産業高等学校 2年 栗田 煌生

私達は260年前から新庄に伝わる新庄囃子を正しく伝承しようと努めています。今年は、外部からの演奏の依頼が2件ありました。7月に介護老人保健施設での夏祭り慰問演奏を行いました。10月には、新庄市のイベントの依頼で1つの演奏を行いました。多くの方々に聞いていただきとても喜んでいただきました。外部での演奏披露を通して、私達一人一人の演奏で少しでも喜んでもらえることに嬉しさと充実感を感じることができました。他に、校内での演奏を例年通りに行いましたが県高文祭での演奏は部員が少ないため出場できませんでした。今は、少ない部員ですが地道に練習を行い外部からの演奏依頼を受け喜んでいただける演奏ができる日を願って練習を積んでまいります。

忙しく、また、楽しく取り組めた1年

山形明正高等学校 2年 佐藤 佳太

山形明正高校伝統芸能部は今年、新入生6名、2年生が2名、入部しました。全員で16名と、昨年よりさらに賑やかな部活動になりました。今年から様々な出演依頼が入り、和太鼓を演奏する機会が増えました。昨年、一昨年と、新型コロナウイルスの影響で予定されていた行事が中止となっていたため、部員全員が高文祭以外での初めての演奏となりました。技術を競う大会と違い、演奏を見て下さる方たちに楽しんでもらうにはどうするか、部員全員で考え、真剣に練習してきました。毎週のようにイベントに呼ばれ、とても忙しい日々でしたが、自分たちが培ってきた技術が誰かを楽しませることができると実感し、今まで以上にやりがいを感じる1年となりました。これからも伝統芸能部部員一同、これまで以上に技術の向上を図っていきたいと思います。

4年ぶりの再開 郷土芸能専門部

米沢工業高等学校 3年 佐藤 愛里沙

今年は、新型コロナウイルスが5類に引き下がり多くの行事やイベントが、数年ぶりに通常開催となりました。私たち伝統文化部も、たくさんの演奏をする機会がありました。昨年に引き続き、各学年1名という少ない人数での活動でしたが、OB・OGの先輩方にも演奏に参加していただき、精一杯叩かせていただきました。聴いてくださった方々の笑顔がたくさん見ることができて、演奏していてとても楽しかったです。また、今年の山形県高等学校総合文化祭がここ置賜であり、私たちも開会式で和太鼓を叩かせていただきました。

高校3年間で一番忙しい年でしたが、貴重な経験やたくさんの方々に喜んでいただける演奏ができた一年でした。